

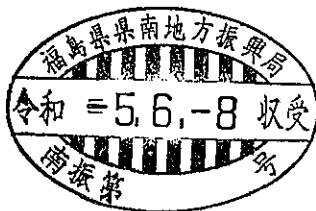
様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023年6月8日

福島県知事 殿



提出者

住所 福島県白河市大信中新城字塩沢45-5

氏名 株式会社エフオン白河

代表取締役 小池 久士

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0248-54-5750

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、~~2023年度~~の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。
~~2022~~

事業場の名称	株式会社エフオン白河 大信発電所
事業場の所在地	福島県白河市大信中新城字塩沢45-5
事業の種類	木質バイオマスによる発電事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,685t	全処理委託量	2,685t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	1,795t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

ばいじん)

1

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : ばいじん)	
項目	実績値	項目	実績値
① 排出量	2,549.22	② + ③ 自ら直接再生利用した量	0
④ 自ら中間処理した量	0.00	⑤ ④のうち熱回収を行った量	0.00
⑥ 自ら熱回収を行った量	0.00	⑦ ⑥自ら中間処理により減量した量	0.00
⑧ + ⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	⑩ ⑧+⑨自ら中間処理により減量した量	0.00
⑪ 全処理委託量	2,549.22	⑫ ⑪のうち優良認定業者への処理委託量	1,195.10
⑬ 再生利用業者への処理委託量	0.00	⑭ 再生利用業者への処理委託量	0.00
⑮ 熱回収認定業者への処理委託量	0.00	⑯ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00
⑰ ⑮ + ⑯ 総合的熱回収率	1195.1	⑱ ⑰のうち優良認定業者への処理委託量	1195.1
⑲ ⑱のうち再生利用業者への処理委託量	0.00	⑳ ⑲のうち再生利用業者への処理委託量	0.00
⑳ ⑲のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.00	㉑ ⑳のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.00
㉑ ㉑のうち自ら直接再生利用した量	0	㉒ ㉑のうち自ら直接再生利用した量	0
㉓ ㉒のうち中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0	㉔ ㉓のうち中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
㉕ ㉔のうち再生利用業者への処理委託量	0	㉖ ㉕のうち再生利用業者への処理委託量	0
㉗ ㉖のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	㉘ ㉗のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
㉙ ㉘のうち自ら直接再生利用した量	0	㉚ ㉙のうち自ら直接再生利用した量	0
㉛ ㉚のうち中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0	㉜ ㉛のうち中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0
㉝ ㉜のうち再生利用業者への処理委託量	0	㉞ ㉝のうち再生利用業者への処理委託量	0
㉟ ㉞のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	㉟ ㉟のうち自ら直接再生利用した量	0

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : 燃え殻)	
不要物等発生量	有償物量	① 排出量	245.59
	自ら直接 再生利用した量	②	
	自ら直録埋立処分又は 海洋投入処分した量	③	
項目	実績値	自ら中間処理した量	④
①排出量	245.59	④のうち熱回収を行った量	⑤
②+③自ら再生利用を行った量	0.00	自ら中間処理により減量し た量	⑥
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	自ら中間処理により減量し た量	⑦
⑥自ら中間処理により減量した 量	0.00	直接及び自ら 中間処理した後の 中間処理委託量	⑧
⑦自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量	0.00	⑩のうち熱回収を行った 量	⑨
⑧全処理委託量	245.59	⑩のうち熱回収を行った 量	⑩
⑪優良認定処理業者への処理委 託量	239.17	⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00	⑫のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫
⑬熱回収認定業者への処理委託 量	0.00	⑬のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬
⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00	⑭のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	⑭
自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧	⑪のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫
自ら直録埋立処分又は 海洋投入処分した量	③	⑬のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	④	⑭のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	⑭
自ら中間処理した後の廢さ 量	⑥	⑪のうち熱回収を行った 量	⑩
自ら中間処理により減量し た量	⑦	⑫のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫
直接及び自ら 中間処理した後の 中間処理委託量	⑧	⑬のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬
⑩のうち熱回収を行った 量	⑩	⑭のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	⑭
⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪	⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪
⑫のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫	⑫のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫
⑬のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬	⑬のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬
⑭のうち熱回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	⑭	⑭のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	⑭

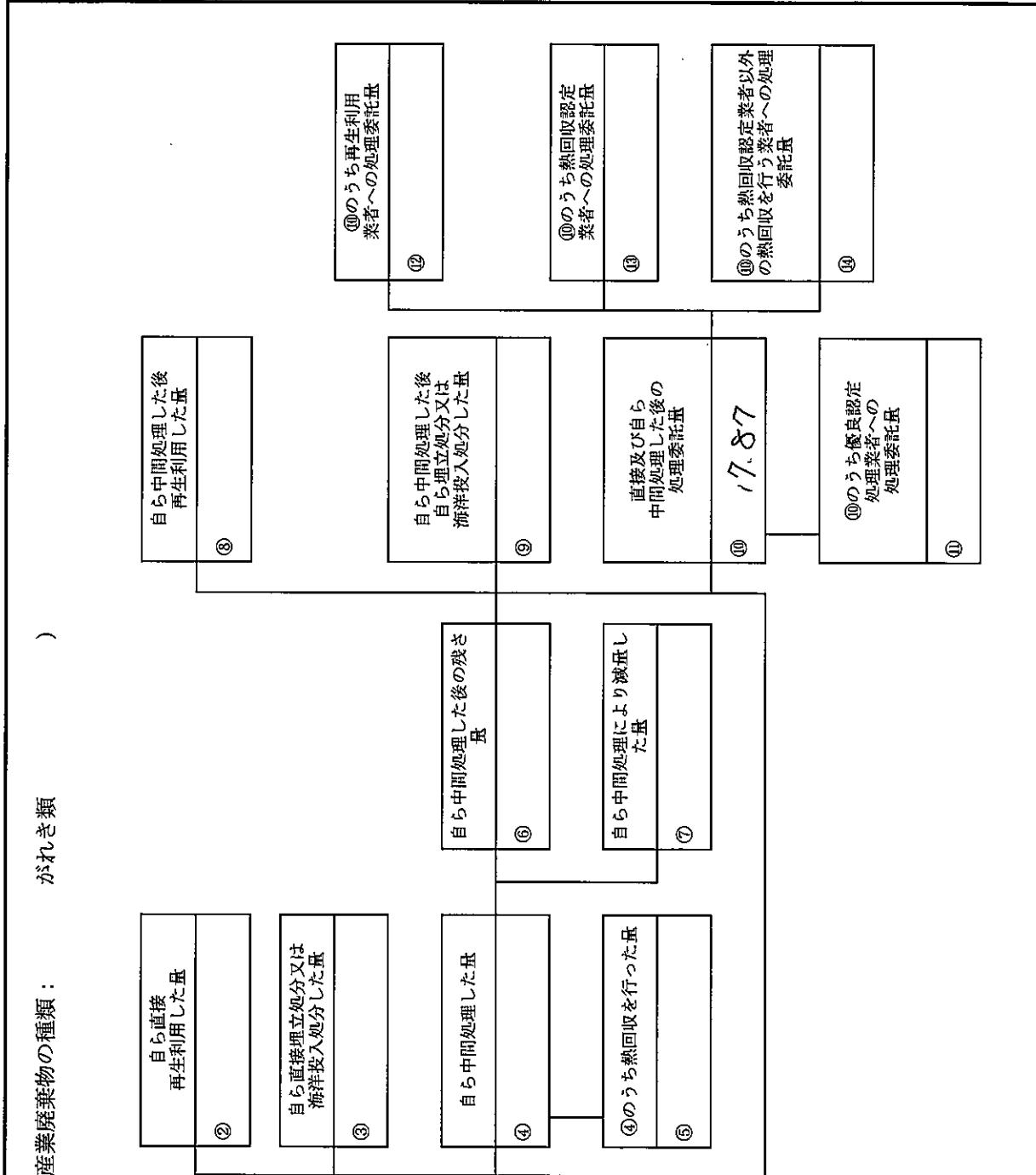
(第2面)

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 : 廃プラ)	
項目	実績値	項目	実績値
① 不要物等発生量	5,63	② 有機物量	5,63
③ 排出量	5,63	④ 自ら直接再生利用した量	5,63
⑤ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0.00	⑥ 自ら中間処理した量	0.00
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00	⑧ 自ら中間処理した後の残さ量	0.00
⑨ ⑩ 自ら熱回収を行った量	0.00	⑪ ⑫ うち熱回収認定業者への処理委託量	5,63
⑩ ⑪ 自ら中間処理により減量した量	0.00	⑬ ⑭ うち優良認定業者への処理委託量	0.00
⑫ ⑬ 再生利用業者への処理委託量	0.00	⑮ ⑯ うち再生利用率の熱回収を行った量	0.00
⑬ ⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行った量	0.00	⑰ ⑱ うち熱回収を行なう業者への処理委託量	0.00
⑭ ⑮ 熱回収認定業者への処理委託量	0.00	⑲ ⑳ うち再生利用率の熱回収を行なう業者への処理委託量	0.00
⑮ ⑯ 優良認定業者への処理委託量	0.00	⑳ ⑳ うち再生利用率の熱回収を行なう業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況	
(産業廃棄物の種類 : ガラス)	
項目	実績値
①排出量	0.61
②+③自ら再生利用を行った量	0.00
④自ら熱回収を行った量	0.00
⑤自ら中間処理により減量した量	0.00
⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
⑧自ら中間処理した後再生利用した量	0.00
⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0.00
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0.00
⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑫のうち熱回収を行なう業者への処理委託量	0.00
⑬のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	0.00
⑭のうち優良認定業者への処理委託量	0.00
⑮のうち再生利用業者への処理委託量	0.00
⑯のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑰のうち熱回収を行なう業者への処理委託量	0.00
⑱のうち優良認定業者への処理委託量	0.00
⑲のうち再生利用業者への処理委託量	0.00
⑳のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況	
①排出量	有機物量 17.87
②不要物等発生量	自ら直接再生利用した量 ②
③排出量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③
項目	実績値
①排出量	17.87
②+③自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑥自ら中間処理により減量した量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
⑧自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑪全処理委託量	17.87 ←=
⑪優良認定業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬燃回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭燃回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。